

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・OW 写真 TG

山行NO NO. 1798-1
日時 2018. 06. 08 (金) 晴・上部は風あり
山域 谷川岳 (1963m) 西黒尾根
コース 長泉発4:40-圏央道=関越道=水上IC-谷川岳ベースプラザ発8:20
-最初の鎖場10:13-ラクダのコーザンゲ岩-谷川岳12:39-肩の
小屋12:45~13:45-天神平15:30-水上・民宿「みちのく」1
6:26 (泊)
標高差 上り 谷川岳ベースプラザ約750m~谷川岳1963m=約1213m
下り "
参加者 GT, KH, MM, MMK, GM, HS, OW=7名

花いっぱい谷川岳

朝8:00、谷川岳ベースプラザ駐車場に到着。平日のためか車は少なくガラ空きだった。
8:20、登山開始。KHさんとHSさんは別ルートを取り巖剛新道へ向かった。
分岐から西黒尾根へと入っていく。初めは樹林帯の中を歩く。湿度が高く、すぐに汗をかく。
テンポの良いペースだ。GTさん、MMさんが、花の名前を沢山教えてくれた。ミソガワソウ、
タニウツギ、エンレイソウ、ツバメオモト、ツクバネソウ、ユキザサ、オオカメノキなどがあ
った。

10:05、標高1400mあたりから樹林帯を抜けた。雲は沸いているが良い天気だ。
GHさんに「あの山は白毛門、朝日岳だよ。」と教えてもらった。どこも行ったことのない山だ。
実は白毛門を「しろげもん」と勘違いしていたのは内緒の話だ。

ちらほらと高山植物も見えはじめた。黄色い花があったので私は「ミヤマキンポウゲだ！」
と言ったが、GTさんは首を傾げる。近くを歩いていた若いパーティーは「ミヤマキンバイだ！」
と喜んでいて。結局正解は「エチゴキジムシロ」だった。GTさんが帰ったあとメールで教えて
くれた。やっぱり花は難しい。



10:15、いよいよ最初の岩場が現れる。多くの人が登っているのか岩が磨かれツルツルしている。慎重に三点支持で登る。



10:30、ラクダの背に到着。最後尾を歩いていたMMさんが少し遅れていた。「肩から血が回らない。」と言っていた。小休止を挟み、再度出発。正面には谷川岳の山頂、オキの耳とトマの耳が見えた。



その後も鎖場が続く。楽しみながら登った。ハクサンコザクラ、ホソヒバナウスユキソウ、ハクサンイチゲ、コイワカガミ、ツガザクラにも出会った。どれも可愛い花だ。



白いハクサンコザクラ

11:05、標高1600m 付近まで到着。MMさんが極端に遅れていた。GTさんが大声でMMさんに呼びかける。どうやら体調が悪いようだ。GTさんの指示で、私、GMさん、MMKさんは先に出発することにした。



展望の良い西黒尾根を歩く

高山植物が現れてから、虫に囲まれるようになった。休憩すると、すぐに私の周りをブンブン飛んでくる。30匹程に纏わりつかれ、鬱陶しく感じる。顔にチクリと感じて触ると必ず虫をつまむことができた。

手で払いながら歩いていると、ザンゲ岩に到着、11:50。西黒尾根の終わりも見えて来た。稜線まであと少しだ。後ろを振り返ると、巖剛組のKH、HSさんがGTさんたちと合流していた。

12:00、稜線の末端まで到着。登山道に雪渓が張り付いている。ステップはしっかりついていた。ツボ足で慎重に登る。



GTさんチーム

GTさんたちが、気づけばすぐ後ろまで来ていた。雪渓を登り終えたところで、待機して全員合流。



稜線にはシラネアオイがあった

12:30、トマの耳（1963m）に到着。私は初めての谷川岳だったので、もう一つのピークにも寄り道してきた。道中、チングルマとハクサンイチゲの見事な群落があった。



トマの耳山頂



チングルマとハクサンイチゲ

12:40、オキの耳(1977m)に到着。こちらの方が数m高いことを知った。KHさんが、「鳥居があるよ。」と教えてくれたので、続いて鳥居を目指してさらに進む。山頂から5分ほど進んだ場所に確かにあった。「富士浅間神社奥の院」と書いてある。



祠があった

奥の院の後ろには、一ノ倉岳、一ノ倉沢が広がっている。一ノ倉は岩登りで有名だが、どこにルートがあるのかまるで分からなかった。いつかはあの場所にも行ってみたい。しばらく景色を堪能して、来た道に戻る。

13:05、肩の小屋で昼食をとっている他メンバーと合流。KHさんから、煮卵と焼豚、骨付き肉をいただいた。とっても美味しい！ジャガイモの煮ころがしもあったそうだが、私に来る前に全て食べられてしまったとの事。残念！お昼の時間に、色々な話をして楽しんだ。沢登りの話など刺激的な話を沢山聞くことが出来た。



全員で記念撮影

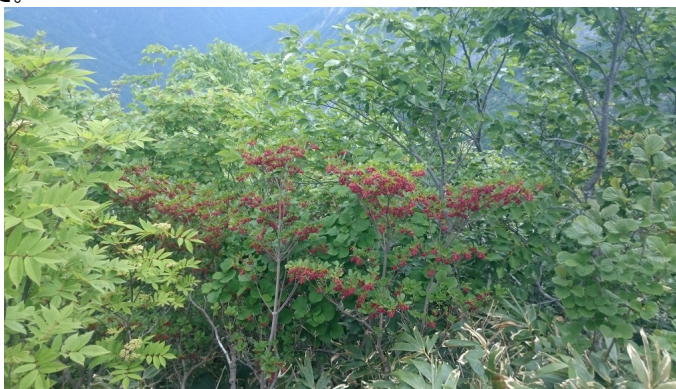
13:45 天神尾根より下山開始。歩きやすくメジャーなルートとの事だが、岩がガラガラして歩いて歩きづらい。



慎重に下る

韓国のツアー客と何人が登ってきた。「ヒンネラ！」頑張れと言ってみる。「カムサハムニダ」と返してくれて嬉しくなった。

途中、たわわに実る美味しそうな実を見つけた。「あの実は食べられますか？」と聞くと、「あれはサラサドウダンだよ。」と言われた。よく見てみると、実だと思っていたのは全て花だった。



たわわに咲いているサラサドウダン

KHさんから、コシアブラの見分け方を教えてもらった。天神尾根には多くのコシアブラが自生しており、コシアブラを見つけながら下山した。

15:25、ロープウェイ乗り場である天神平へ到着。いよいよ谷川岳とはお別れだ。最後に、谷川岳バックにバニーポーズで記念撮影。ロープウェイに乗り込む。

その後、16:26 民宿「みちのく」にチェックイン。豪勢な夕食をいただき、21:00には就寝した。

【感想】

今回、ありがたい事に谷川岳山行に同行させていただくことになった。

裾野麗峰のGTさん、KHさんとは、2017年暮の、戸台でお会いしている。私は、日本山岳会の個人山行で、戸台から仙丈ヶ岳へ行く途中、GTさん達は戸台から甲斐駒を超えて黒戸尾根へ行く予定の所、悪天の為引き返してきたそうで、そこでバツリ遭遇した。その頃から、裾野麗峰の事が気になっていた。そんな折、元々の山仲間であったMMKさんが、麗峰に所属した事を知った。私が気になっている事を知ると、それならば、と紹介してくださり、今回の山行に至った。念願が叶い嬉しい限りである。

改めて、麗峰の皆様は「すごい」と感じた。体力もある。そして山の事をよく知っていた。私が知りたい事を全て教えてくれたし、知らない事を沢山教えてくれた。

話せば話すほど、山を敬愛している気持ちが伝わってきた。

素敵な皆様にお会いすることが出来てとても幸せです。平日休む事がなかなか難しいですが、また機会があればぜひ一緒させてください。ありがとうございました。



素敵な皆様（「民宿みちのく」にて）